

# スケート国体きょう開幕

## 青森県勢健闘誓う

第72回国体冬季大会がの銀嶺国体のスケート、アイスホッケー競技会は27日から、長野県内で競技が行われ、澤内和興団長ら本

部役員が選手を激励、本番へ向け士気を高めた。長野市内で行われたスビードの結団式では、成年男子の松尾和明(吉田産業)に眞旗を引き継がれ、澤内団長が「出場できなかった選手のことを思い、練習の

成果を出し切って」と選手を励ました。少年女子で国体初出場の宮下和奏(根城中)は「速い選手にもできるだけついていけるように頑張る」と気持ちを高めていた。

アイスホッケーの結団式は岡谷市で実施し、少年男子の選手らが参加した。少年男子の武田裕大(上野大)は「2回戦で戦う埼玉県が一番のヤマ場。な

んとしても競り勝ち、波に乗った状態で準々決勝以降に臨みたい」と闘志を燃やした。大会初日の27日は、長野市内で開始式が行われるほか、フィギュアとアイスホッケーの競技がスタート。青森県関係では、フィギュアスケート少年女子のショートプログラムに、大澤陽(三沢高)、廣谷帆香(工大一高)が出場する。(田沢奈々、佐藤雄)



健闘を誓って氣勢を上げるスピードスケートの選手ら  
26日、長野市内



勝利に向けて意気込むアイスホッケーの選手団  
26日、岡谷市内